

ギャラリー

楽風企画 **島津啓 写真展 緑の線の縁** 2/27(木)~3/4(火) 10時~7時 最終日5時

詩人であり建築家の立原道造が自らのために構想した週末住宅、ヒアシンスハウス。
さいたま市郊外、別所沼の畔に佇むこの小さな木造の建物は、撮影するたびにその様相を変えてゆく。
建物の木肌、周辺の木立の葉色、風のそよぎ、雲の動き、空の澄み具合…たゆたう時間と空間の中でそれは緑の線に縁取られる。



2025 着物リフォーム 潤うるおい 高瀬潤子展 3/15(土)~18(火) 11時~6時 最終日5時

デザインはシンプルに、でもどこか遊び心もあるものを…昔の着物がおしゃれな洋服や使いやすい小物としてふたたびよみがえります。「今回はアロハを作ってみました。男性の方々にも着物リフォーム作品を楽しんでいただけたらと思います」と高瀬さん。どうぞお揃いでご来場ください。

フィールドノート11th page

楽風企画 **ミウラ写真塾 ヨコハマ・サムシングエルス**
3/20(木・祝)~25(火) 10時~7時(在廊11時~5時) 最終日4時

ミウラ写真塾は、街や風景を歩いて見て撮る14名のグループです。今回で11回目のフィールドノート展は、普段の街から有名観光地まで横浜市内のあちこち、2年の間の撮影会と講評会を重ねての開催です。メンバー全員から選び抜かれた写真。それはいつも新鮮で、グループ展としてまとまりのあるレベルを感じます。写真家で講師の三浦和人さんの挨拶文もいいですよ。



楽風企画 **田中三枝子 織の仕事** 3/27(木)~4/1(火) 10時~7時(在廊11時~5時) 最終日5時

美大で油絵を学び、卒業後、草木染作家、伝統工芸染色家に師事し、重要無形文化財である「丹波布」を伝承した田中さん。以来、日本の伝統の技と心を守りつつ、新しい時代に繋げるように布を創作し続けています。木綿や麻、絹糸などの天然素材を、藍、あかね、さくら等の草木で染色、更に手織りした布で仕立てた服やバッグ、アクセサリなど、美しく温かい作品をお手にとりご覧ください。



春の装い 甲斐田智子 バティック・イカット & ハンドクラフト展
4/3(木)~8(火) 10時半~6時半 最終日5時

インドネシア、ジャワ島の更紗、バティックとバリ島の手織り紺、イカット。美しい色あいや素朴な風合いに南の島国ならではの豊かな自然を感じます。日常、サロン(腰布)として使われている布を春のウェアにしました。服の他にクッション、バッグ、ポシェットなども。アタのかごやはぎれの販売もいたします。

こうぶつ展2025 好きな物・幸せな物・鋳物 4/10(木)~15(火) 11時~7時 最終日4時

いたくらもとえ(アニマルDOLL) さかうえだすけ(陶器・紙小物) サガワアキヨ(刺繍画・布人形) 掌の小鳥(ウッドクラフト) ナオコ1号(ビーズアクセサリ) 中谷綾(ビーズ&ソウタシアクセサリ) nearly-equal(小物) 猫のみみ(布小物・がま口) はる(羊毛造形) 平川朋子(デイベア・指人形) 抱夢(マッチ箱絵本・豆本) モノツクリ金造(図画・工作ブツ) 故・小川ゆうこ(シルバーアクセサリ) 13人の作家さんの個性が大集合。あちこち楽しく漂いながらお気に入りを見つけてください。

楽風企画 **小泉すなお 陶展** 4/17(木)~29(火・祝) 23(水)休 10時~7時 最終日5時

初個展は23年前の楽風。それからずっと、時々作品を見てきた。「さわやかな草の色や曇り空の濃淡など、美しい色に出会うとこれを器に写せたらなと思います」気がつけば楽風で販売しているマグカップも5色に。これからも美しい色の景色が生まれるだろう。マットな仕上がりの滑らかな質感…
小泉さんの手による食の器、花の器がギャラリーにやってきます。

